

## 「あわこい」について

### (1) 「あわこい」とは

徳島県西部、「にし阿波」(美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町の4市町で構成)で開催する、体験プログラムイベントのことです。H24年よりスタートし、自然や歴史、文化、食など、にし阿波の様々な地域資源を活かしたプログラムを毎年期間限定で実施しています。

### (2) 「あわこい」の目的

「あわこい」は、地域住民に「にし阿波での濃い時間」を過ごしてもらいたいとの願いから名付けられました。地域のみなさんが主役になって、地域の魅力が詰まったプログラムを企画・開催する中で、

- ①地域の魅力を再発見し、参加者との交流を通して
- ②地域のネットワークを拡大し、地域づくりの推進を目指すとともに
- ③ビジネスのテストマーケティングの場として活用されています。

平成20年に国から認定された「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の理念である、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを実現するための取組みです。

### (3) 「にし阿波」とは

「にし阿波」は、四国のまんなか、徳島県西部に位置し、西日本第2の高峰「剣山」や四国三郎「吉野川」に代表される、自然豊かな地域です。

米国人東洋文化研究家アレックス・カー氏が「日本の原風景」ともいえるこの地の農村景観を自著の中で『桃源郷のような別世界』と表現したように、山間部の自然景観は隠れた秘境の世界を創り出し、そこで暮らす人々は、古くから急傾斜地を利用した農業を営み、険しいが故に暮らしの教訓として妖怪伝説を語り継いでいます。

また、吉野川の中流域はかつて水運に利用され、藍やたばこの集積地として栄え、豪商の建物が立ちならぶ町並み『卯建(うだつ)』が今も各地に残っており、さらに、上流域では古くから『かずら橋』や船下りなどが観光に活用され、近年ではラフティングやカヌー、カヤックなどウォータースポーツが盛んに行われています。

「にし阿波」では、このように魅力的な自然や歴史、文化を素材として観光での地域づくりを進めてきたところ、これらの取組みが評価され、地域全体としては国内で唯一、『観光圏(H20.10観光庁認定)』『SAVORJAPAN(農泊食文化海外発信地域)(H28.11農林水産省認定)』『世界農業遺産(H30.3国連食糧農業機関(FAO)認定)』のトリプル認定を受けている。

#### (4) プログラム例

毎年地域の魅力を活かした体験プログラムを50~100件ほど開催しています。



##### 親子ふれあいカフェ

地域の食材を使ったカフェで、親子  
同士交流しながらマッサージを学ぶ



##### 天然染料による藍染体験

藍染が伝統的に営まれた地域で、  
本格藍染を体験



##### 名人直伝こんにゃくづくり

地域の田舎料理の達人からこんにゃく  
芋からの作り方を学び、食べる体験



##### 名産いちご狩り・いちご大福作り

一年中収穫可能な町の特産品のいちごを使い、フレッシュな採れたて・作りたての大福を堪能する体験



##### きなこ飴作り

にし阿波ならではの急傾斜地に  
張り付く集落で開催するきなこ飴作り体験



##### ジオガイド

地域のルーツやかつての歴史を、  
大地の成り立ちとともに学ぶツアー